

佐賀市水対策市民会議
学習会「多布施川試験通水報告会」
平成 25 年 3 月 26 日
川上会長ポイント解説

それでは、最後に私の方からポイントを簡単にご説明させていただきます。

佐賀市水対策市民会議のホームページに、ポイントとなる 4 地点の 1 カ月分の流量が出ています。個々の井樋ごとではないんですけども、ポイントとなる観測所の流量があるんですね。

昨年、学習会でいろいろとお話しをさせて頂いたんですけども、多布施川の環境用水は石井樋から $1.4 \text{ m}^3/\text{s}$ 流れています。そして川上頭首工から農業用水が注入されます。これは佐賀市の上水と天祐寺川から東与賀に流す水ですね。それが最大 $1.1 \text{ m}^3/\text{s}$ ぐらい。ですから多布施川には合計で約 $2.5 \text{ m}^3/\text{s}$ の水がいつも流れるはずなんですね。その量が流れてきているかどうか。これが $2.0 \text{ m}^3/\text{s}$ を切ったりすると厳しい状態になるわけですよ。

注目して見て頂きたい観測所をご説明します。

まず、石井樋の分流地点。環境用水の $1.4 \text{ m}^3/\text{s}$ が流れているかどうか。そして蛸久の観測所。ここで石井樋からの環境用水と川上頭首工からの農業用水があわさります。約 $2.5 \text{ m}^3/\text{s}$ ですね。

それからずっと下流に行った緑小路の観測所。これは天祐寺川に分かれた後の多布施川本川の観測所です。これが天祐寺川に分かれた後の井樋に関係しますから緑小路の観測所にも注目して頂きたい。だいたい $0.7\sim 0.8 \text{ m}^3/\text{s}$ 流れているはずなんですね。

そして農業用水の天祐寺川。天祐寺川の流量も出ています。天祐 1 丁目の観測所ですね。天祐寺川のほうにたくさん流れると城内のほうには水がいかない。こういう構図になります。しかし、天祐寺川には天祐寺川の農業用水の事情があるかもしれません。

この 4 地点（石井樋分流地点、蛸久観測所、緑小路観測所、天祐 1 丁目観測所）の流量を毎月折れ線グラフにして佐賀市水対策市民会議のホームページに掲載しています。それを見てポイントとなる 4 地点の流量がその通り流れているかどうか見て頂いて、例えば当初 $0.7\sim 0.8 \text{ m}^3/\text{s}$ 流れる予定だったのが $0.5 \text{ m}^3/\text{s}$ とか $0.6 \text{ m}^3/\text{s}$ になったら要注意なんですね。その時は、なぜそうなったかという理由を市の河川砂防課に聞いて頂いたほうがいいと思います。いろんな事情があるとそうなると思うんですね。雨が降らなくて水が流れてこなくなったとか。農業用水の関係で天祐寺川のほうに多くいく可能性もあります。そういう時は話し合いをして、一番いい形の水の配分の仕方にしないといけないと思います。

そういうことでポイントとなる 4 地点の流量のデータが毎月出ていますから、常に関心をもって見て頂きたいと思います。

そしていろいろと問題が出てくれば、佐賀市水対策市民会議で意見を出して頂いて、状況を確認して、どうしたらいいかということをお話合ったらいいと思います。

ぜひ、4 地点の流量に関心を持って頂いて、佐賀市水対策市民会議のホームページに掲載されている流量データを見て頂ければありがたいと思います。